

①大学（薬・香薬以外）

② 入試区分

I 期A日程

③ 出題科目

日本史探究

④ 出題の意図

特定の時代や分野に偏らず、通史的に基本事項の理解を確認することを、出題の基本方針とした。

この観点から幅広く古代・中世・近世・近代について、重要な基本事項を出題（問題Ⅰ～Ⅳ）し、加えて、別途文化史分野（問題Ⅴ）を設定した。

また、制度や考え方がどのように変化したのかを考える中で、時代の特徴が理解できているかを重視した。とくに中世（問題Ⅱ）では支配秩序の変容過程について、武家の制度（守護と地頭）成立を軸に作問した。近代（問題Ⅳ）では新旧二つの憲法を対象として、戦前と戦後の変化などについて出題した。

一方、古代（問題Ⅰ）と近世（問題Ⅲ）は、時代背景をふまえつつ政治、社会など広い分野から各時代の基本的事項を確認する内容とした。

日本史探究

I 飛鳥時代の政治史に関する次の文章を読み、(1)～(8)の問題に答えよ。

6世紀の終わり近く、敏達大王の死をきっかけに、王族を巻き込みながら①中央豪族の間で対立が深まった。推古大王が即位するまでの数年間は不安定な政局が続いた。

その後、推古大王の治世では②有力王族と③中央豪族の代表とが連携して大王権力を支える体制がなりたち、20年以上、政局が安定した。この間に、④新しい外交政策を推進すると共に、朝廷に参集する⑤中央豪族を序列化し、彼等にあるべき規律を示すなど政府の中枢機構を整えた。しかし620年代にはいって朝廷を主導してきた三人が次々と亡くなり、この体制は崩れた。

その後、蘇我蝦夷らは、中央豪族を代表して大王を擁立し、その下で実権を掌握する体制を追求しようとしたらしい。しかし王族や他の中央豪族の反発を招き、⑥645年に発生した政変で、この構想は潰えた。政変後に発足した新体制は、⑦有力王族が大王を擁立し、実権を掌握する形をとった。たとえば大臣の地位が二分されるなど、中央豪族の政治力は低下した。

この時代、政治体制の刷新にむけた模索は朝鮮半島の三国でも生じていた。隋・唐による対高句麗戦争をきっかけに、三国間の抗争はいよいよ激しくなり、各国は存亡をかけて、戦争体制の強化を進めようとした。その中で支配者層が権力集中の形を追求した。

7世紀なかばに三国では相前後して重大な政変が生じている。この時期の倭国の政治動向もまた、東アジア情勢の緊迫化の中で捉える視点は大切である。

倭国の645年政変に先立ち、641～642年に高句麗と百済で重大な政変が発生した。高句麗では王と貴族多数を殺害する凄惨なクーデタを経て独裁的な政権が成立した。百済でも即位した新王が有力王族などを追放して権力を独占した。日本書紀によれば、この事件はただちに倭国に伝わったという。⑧643年に倭国で発生した事件は、おそらく王族や中央豪族に高句

麗の凄惨なクーデタを想起させるもので、彼らが645年政変に踏み切る動機の一つであっただろう。

- (1) 下線部①で厳しく対立した中央豪族を次の中から二人選び、記号で答えよ。

ア) 物部尾輿, イ) 物部守屋, ウ) 蘇我馬子, エ) 蘇我稻目,
オ) 大伴金村, カ) 大伴糠手

- (2) 下線部②有力王族の名を漢字で正しく答えよ。

- (3) 下線部③中央豪族を次の中から一人選び、記号で答えよ。

ア) 蘇我馬子, イ) 物部守屋, ウ) 中臣鎌足, エ) 阿倍内麻呂

- (4) 下線部④の新しい外交政策として適切な内容を次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア) 対隋外交の推進, イ) 対唐外交の推進, ウ) 百済支援の派兵,
エ) 新羅支援の派兵, オ) 高句麗支援の派兵

- (5) 下線部⑤の中央豪族を序列化する制度を次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア) 氏姓制度, イ) 憲法十七条, ウ) 冠位十二階, エ) 八色の姓

- (6) 下線部⑥の645年に発生した政変の内容として適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア) 蘇我入鹿の謀殺と蘇我蝦夷の自殺, イ) 崇峻大王の暗殺,
ウ) 大友皇子の自殺と近江大津宮の炎上, エ) 境部摩理勢の殺害

- (7) 下線部⑦有力王族を次の中から一人選び、記号で答えよ。

ア) 彦人大兄, イ) 中大兄, ウ) 古人大兄, エ) 山背大兄,
オ) 茅渟王

(8) 下線部⑧事件の内容として適切な内容を次の中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア) 山背大兄王一族の討滅， イ) 蘇我倉山田石川麻呂の自殺，
- ウ) 古人大兄の殺害， エ) 長屋王の自殺

Ⅱ 次の文章 A・B を読み、(1)～(6)の問題に答えよ。

A 武家としてはじめて太政大臣となって朝廷での地位を高めた ① は、1179年、武力を背景に後白河法皇を幽閉して実権を奪い、翌年には自分の孫にあたる安德天皇を即位させた。皇位継承の可能性を失った ② は、諸国の源氏に平氏追討を呼び掛けて蜂起したが、短期間で鎮圧された。だが、これを契機に平氏が諸国の源氏の追討に乗り出したことから、1180年に源頼朝が挙兵したほか、各地で反平氏の気運が高まり、反乱が発生した。

注意されるのは、頼朝が朝廷に敵対したまま、東国の反乱軍として軍事体制を築いていったことである。頼朝は石橋山の戦いで大敗したものの、勢力を盛り返して鎌倉に入り、武士たちと主従関係を結んで ③ に組織し、彼らの所領支配を保証していった。

他方、木曾義仲によって平氏が都を追われ、義仲が後白河法皇と対立する中で、1183年に頼朝は後白河法皇と連携することに成功した。それによって東国の軍事体制がそのまま公認され、頼朝は反乱軍から政府軍へと大きく立場を変え、弟の義経らの軍を上洛させて義仲を滅ぼした。その後、平氏、さらに奥州藤原氏を滅ぼした頼朝は、全国の治安維持の担い手として位置づけられていった。

このように反乱軍として出発した頼朝の権力は、朝廷に対する自立性をもつとともに、朝廷の枠組みに依存する性格ももっていた。鎌倉幕府を支える根本的な制度である ④ と地頭も、朝廷によって設置が認められるが、実態としてはそれ以前から、頼朝が反乱軍としての戦争の中でつくりあげていったといえる。

④ は原則として各国に1人ずつ任命され、国内の ③ を指揮し、平時は大犯三カ条を職務とした。

(1) 空欄①にあてはまる人物名を、漢字で正しく答えよ。

- (2) 空欄②にあてはまる人物名を次の中から一人選び、記号で答えよ。
ア) 北陸宮, イ) 護良親王, ウ) 源頼政, エ) 以仁王,
オ) 懷良親王
- (3) 空欄③にあてはまる言葉を次の中から一つ選び、記号で答えよ。
ア) 北面の武士, イ) 御内人, ウ) 西面の武士, エ) 家子,
オ) 御家人
- (4) 空欄④の職務の内容にふさわしい文章を次の中から一つ選び、記号で答えよ。
ア) 天皇・院の御所を警護させる番役の催促にあたった。
イ) 諸国に散在する將軍の直轄領である御料所の管理にあたった。
ウ) 訴訟を専門に担当し、迅速な裁判につとめた。
エ) 朝廷を監視し、京都の内外の警備、西国の統轄にあたった。

B 南北朝時代から室町時代には、百姓が全体としてまとまった行動をとるようになり、新しい自治的な村がつくられた。この自立的・自治的な村を惣または惣村という。

惣村は、宮座を中心にして ⑤ という村民の会議の決定にしたがって、おとな・沙汰人などとよばれる村の指導者によって運営された。この惣村の百姓たちは、一味神水の儀式などによって一揆を結び、実力行使をおこなった。1441年におきた嘉吉の土一揆は大規模なもので、数万にも及んだ一揆勢が連携し、債務破棄を求めて土倉などを襲撃するとともに ⑥ を要求し、幕府もやむなくそれを認めて ⑥ を発布した。

- (5) 空欄⑤にあてはまる言葉を次の中から一つ選び、記号で答えよ。
ア) 会合衆, イ) 記録所, ウ) 寄合, エ) 地下請, オ) 自検断
- (6) 空欄⑥にあてはまる言葉を次の中から一つ選び、記号で答えよ。
ア) 楽市令, イ) 徳政令, ウ) 半済令, エ) 惣掟, オ) 撰銭令

Ⅲ 次の文章 A・B を読み、(1)～(6)の問題に答えよ。

A 江戸幕府の支配のしくみの大枠は、3代将軍徳川家光がととのえた。1634年、家光は30万余りの大軍勢をひきいて京都に上洛し、全国の支配者としての地位を示した。翌年には [①] を改訂し、大名が1年おきに国元から江戸に参勤する参勤交代を制度化するとともに、諸大名に幕府の法令に従うことを命じた。ただしこの参勤交代制は、大名の経済力を削減しようとして定められたものではなく、その本質は、諸大名の将軍に対する服属儀礼であった。[①] で行列の人数の削減を命じたことが、それをよく示している。

老中の呼称が一般的になり、それを核とする幕府の職制ができあがるのも家光のときである。日常の政務は「知恵伊豆」として著名な [②] のほか、阿部忠秋ら老中が担うことになり、老中制が確立していった。最高職である [③] は、将軍代がわりなど重要事項決定の時のみ置かれ、幕末まで譜代大名の酒井・土井・井伊・堀田から任じられた。

- (1) 空欄①にあてはまる法令名を、漢字で正しく答えよ。
- (2) 空欄②にあてはまる人物の派遣によって鎮圧された出来事を次の中から一つ選び、記号で答えよ。
- ア) フェートン号事件, イ) 禁門の変, ウ) 島原の乱,
エ) 紫衣事件, オ) 大塩の乱
- (3) 空欄③の職にあった人物が水戸藩浪士らに暗殺された事件を、次の中から一つ選び、記号で答えよ。
- ア) 池田屋事件, イ) 桜田門外の変, ウ) 坂下門外の変,
エ) 安政の大獄, オ) 由井正雪の乱

B 女子用の教科書として読まれた『女大学宝箱』（いわゆる「女大学」）は、朱子学者として、また『大和本草』の著者として知られる ④ が述べたものとして流布したが、実際には彼の著作『和俗童子訓』の一節「女子を教ゆる法」のダイジェスト版であり、その性格は変えられてしまっている。たしかに ④ は、儒者としての豊富な知識をもとに生涯の各段階で女性が父・夫・子に従うことなどを説いたが、幼児期における男女同様の教育の必要性を述べていたことも見逃せない。このような男女平等に近い教育観を省略し、家父長的な家制度にふさわしい女性を育てることを目指したのが「女大学」とその系列の教訓書であり、江戸中期に出版されて以降、版を重ねて広く読まれた。

だが、江戸後期には社会や女性のあり方について思索し、批判する女性もあらわれた。江戸に生まれた只野真葛は、幼い時から儒学や国学を学び、仙台藩医の父 ⑤ や知人の蘭学者から海外の知識を得ていた。のちに仙台藩士只野行義の妻となって仙台におもむき、晩年の著作『独考』で江戸後期の社会を多岐にわたって批判的に論じている。『南総里見八犬伝』などの読本で人気を博した作家 ⑥ は彼女の出版依頼を断り、批判したが、その才能を評価していたといえる。

(4) 空欄④にあてはまる人物名を次の中から一人選び、記号で答えよ。

- ア) 平賀源内, イ) 杉田玄白, ウ) 野呂玄丈, エ) 宮崎安貞,
オ) 貝原益軒

(5) 空欄⑤は、意見書『赤蝦夷風説考』を著して老中の田沼意次に献じ、ロシアへの備えや蝦夷地の開発を主張した。空欄⑤にあてはまる人物名を、漢字で正しく答えよ。

(6) 空欄⑥にあてはまる人物名を次の中から一人選び、記号で答えよ。

- ア) 山東京伝, イ) 上田秋成, ウ) 曲亭馬琴, エ) 十返舎一九,
オ) 井原西鶴

Ⅳ 新旧二つの憲法に関する問題に答えよ。

1 次を示した大日本帝国憲法の一部を読み、問題に答えよ。

第一条 大日本帝国ハ 天皇之ヲ統治ス

第三条 天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス

第四条 天皇ハ国ノ ニシテ統治権ヲ総攬シ此ノ憲法ノ条規ニ依
リ之ヲ行フ

第五条 天皇ハ ノ協賛ヲ以テ立法権ヲ行フ

第十一条 天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス

第三十三条 帝国議會ハ ノ両院ヲ以テ成立ス

第五十五条 ハ天皇ヲ輔弼（ほひつ）シ其ノ責ニ任ス

- (1) 空欄①にあてはまる適切な語句を次の中から一つ選び、記号で答えよ。
ア) 先帝ノ指名シタル， イ) 枢密院ノ推挙シタル， ウ) 万世一系ノ，
エ) 皇室典範ニ則リ即位シタル
- (2) 空欄②にあてはまる適切な語句を次の中から一つ選び、記号で答えよ。
ア) 皇帝， イ) 君主， ウ) 象徴， エ) 元首
- (3) 空欄③にあてはまる適切な語句を次の中から一つ選び、記号で答えよ。
ア) 政府， イ) 枢密院， ウ) 太政官， エ) 帝国議會，
オ) 元老院
- (4) 空欄④にあてはまる適切な語句を次の中から一つ選び、記号で答えよ。
ア) 枢密院貴族院， イ) 枢密院衆議院， ウ) 貴族院衆議院，
エ) 元老院貴族院， オ) 元老院衆議院
- (5) 空欄⑤にあてはまる適切な語句を次の中から一つ選び、記号で答えよ。
ア) 國務各大臣， イ) 総理大臣， ウ) 枢密院， エ) 内閣

- (6) 大日本帝国憲法の適切な公布時期を次の（ア）～（エ）から一つ選び、記号で答えよ。

1874年 民撰議院設立建白書

（ア）

1881年 国会開設の勅諭

（イ）

1884年 華族令公布

（ウ）

1894-1895年 日清戦争

（エ）

1904-1905年 日露戦争

- 2 次を示した日本国憲法の一部を読み、問題に答えよ。

前文

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、①政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであって、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。〈以下省略〉

第一条 天皇は、日本国の であり日本国民統合の であって、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く。

第四十一条 国会は、国権の最高機関であって、国の唯一の 機関である。

- (7) 日本国憲法前文の下線部①と直結する憲法本文の条文番号を次の中から一つ選び、記号で答えよ。
- ア) 第一条, イ) 第七条, ウ) 第九条, エ) 第十二条
- (8) 空欄②にあてはまる適切な語句を次の中から一つ選び、記号で答えよ。
- ア) 象徴, イ) 元首, ウ) 君主, エ) 代表
- (9) 空欄③にあてはまる適切な語句を次の中から一つ選び、記号で答えよ。
- ア) 統治, イ) 行政, ウ) 立法, エ) 代表
- (10) 日本国憲法の適切な公布時期を次の(ア)～(オ)から一つ選び、記号で答えよ。

ポツダム宣言

(ア)

GHQ 五大改革指令

(イ)

戦後の初回総選挙(第22回衆議院議員総選挙)

(ウ)

教育基本法制定

(エ)

サンフランシスコ平和条約

(オ)

V 宗教と政治・社会・文化に関する次の文章 A～E を読み、(1)～(7)の問題に答えよ。

A 禁教令に続けて相次いで実施された幕府の鎖国政策の強化により中国船とオランダ船の長崎入港のみが許されると、オランダ商館は平戸から出島に移され、中国人居住地は新たに建設された居住地区 ① に限定された。

B ② への留学僧 ③ らにより山林修行を重視する密教が伝えられると、山岳伽藍が多く営まれ、また旧来の山岳信仰と結びついて修験道が生まれた。

C 新しい仏教系諸宗派が武家や庶民の信仰を得て勢力を増したこの時期には、寺院や道場を中心に信者が集住して防御的・自治的性格を帯びた寺内町が形成されたが、特に ④ の勢力の強い畿内・北陸に多い。

D 末法思想が広まり極楽浄土での往生を説く浄土思想が流行すると、朝廷や貴族による造寺造仏が盛んとなり、藤原道長は ⑤ を創建、頼通は平等院鳳凰堂を建立した。

E 平田篤胤らが唱えた復古神道が浸透すると、⑥ は排外的・国粹的傾向を強め、幕末の尊王攘夷運動、明治維新期の神仏分離・廃仏毀釈に大きな影響を与えた。

(1) 文章 A～E を時代順に並べよ。

(2) 空欄①にあてはまる語句を漢字で正しく答えよ。

(3) 空欄②にあてはまる国名を次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア) 隋, イ) 唐, ウ) 宋, エ) 元, オ) 明

- (4) 空欄③にあてはまる代表的な留学僧の名を漢字で正しく答えよ。
- (5) 空欄④にあてはまる宗派を次の中から一つ選び、記号で答えよ。
ア) 浄土宗, イ) 浄土真宗 (一向宗), ウ) 日蓮宗, エ) 曹洞宗,
オ) 時宗
- (6) 空欄⑤にあてはまる寺を次の中から一つ選び、記号で答えよ。
ア) 室生寺, イ) 建仁寺, ウ) 法勝寺, エ) 法成寺,
オ) 本能寺
- (7) 空欄⑥にあてはまる学問・学派を次の中から一つ選び、記号で答えよ。
ア) 国学, イ) 朱子学, ウ) 古学派, エ) 儒学, オ) 心学

I

- (1) イ ウ
- (2) 厩戸王（聖徳太子）
- (3) ア
- (4) ア
- (5) ウ
- (6) ア
- (7) イ
- (8) ア

II

- (1) 平清盛
- (2) エ
- (3) オ
- (4) ア
- (5) ウ
- (6) イ

III

- (1) 武家諸法度
- (2) ウ
- (3) イ
- (4) オ
- (5) 工藤平助
- (6) ウ

IV

- (1) ウ
- (2) エ
- (3) エ
- (4) ウ
- (5) ア
- (6) ウ
- (7) ウ
- (8) ア
- (9) ウ
- (10) ウ

V

- (1) B D C A E
- (2) 唐人屋敷
- (3) イ
- (4) 空海（弘法大師）・最澄（伝教大師）・円仁（慈覚大師）・円珍（智証大師）
- (5) イ

(6) エ

(7) ア